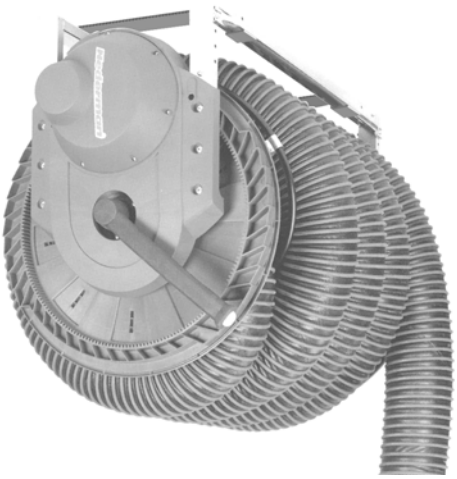
Doc. No.	EXT 010U-07

yamada

取 扱 説 明 書

電動式・スプリング式排気ホースリール

（Nederman）



⚠ 警告

安全のため、本製品のご使用の前には必ずこの取扱説明書を熟読し、記載されている重要警告事項をよく理解してください。
また、本取扱説明書をいつでも使用できるよう大切に保管してください。

YAMADA CORPORATION

- はじめに

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本書は、本製品を安全に正しくかつ効率的にお使いいただくための重要な事項を記載しています。本製品をお使いになる前に本書を熟読し、特に本書の冒頭の「警告･注意事項」の項をよくお読みになり、ご理解された上でお使いください。なお、本書は本製品をお使いいただく際にいつでも参照できるよう、大切に保管してください。

- 使用目的

本製品は、アイドリング状態にある一般乗用車やトラックなどを点検・整備する際に発生する排気ガスを排気ファン及びダクトなどと併用して、屋外に排出するための装置です。なお、本製品は溶接のヒューム・塵埃などの排出には使用することはできません。

- 警告・注意事項

本製品を安全にお使いいただくために、以降の記述内容を必ずお守りください。
本書では、警告・注意事項を絵によって表示しています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき操作を行なう方や周囲にいる方々に加えられる恐れのある人身事故や、周囲にある物品への損害を未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容を良くご理解いただくようによくお読みください。

⚠ **警告** ： この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。

⚠ **注意** ： この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害が発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容を示すために、上記の表示とともに以下の絵表示を使用しています。

この表示は、してはいけない行為（禁止事項）であることをあらわしています。表示の脇には具体的な禁止内容が示されています。

この表示は、必ずしたがっていただく内容であることをあらわしています。表示の脇には具体的な指示内容が示されています。

- 使用上の注意

下記の警告・注意事項は大変重要ですので、必ず守ってください。

⚠ 警告

- 車両エンジンの回転数を上げたまま（空ふかしや高負荷状態）の状態で長時間使用しないでください。排気ガスの温度が上昇し、火災やホースの劣化など故障の原因になるとともに、室内に排気ガスが充満し作業者の健康に影響を及ぼす恐れがあります。
- 黒煙除去装置（DPF, DPD, DPR など）を装着している車両において、黒煙除去装置が再生状態にある場合には、使用しないでください。
  排気ガスの温度が高温（400℃以上）となり、ホースの破損や火災の原因となります。
- 車両マフラーへのラバーノズルの差込み固定は確実に行ってください。固定状態が不十分な場合、エンジンの始動時や稼働中にノズルが外れ、排気ガスを吸引することができず、室内に排気ガスが充満して作業者の健康に影響を及ぼす恐れがあります。

⚠ 注意

- 本製品の改造は絶対にしないでください。改造すると人身事故や故障を生じる恐れがあります。
- エンジンクリーナーを使用した状態での車両には使用しないでください。エンジンクリーナーに含まれている成分が排気ホースの寿命を著しく短くします。
- 排気ホースを下降させる場合には、不注意な事故が起きないように、本製品の真下に人や車両がないことを確認してください。
- 排気ホースが手の届く範囲まで下りてきたら、ラバーノズルのグリップを持ちながら排気ホースを下降させてください。手放し状態ではラバーノズルが空中で揺れて、人や車両などを傷付ける恐れがあります。（電動式排気ホースリールの場合）
- 車両のエンジンを停止した直後のラバーノズルは、大変高温になっています。ラバーノズルの取外しには手袋などの防具をはめて、火傷しないように注意してください。
- 作短時間での電源投入の繰り返しは、インジケーターアーム LED 表示が誤動作する可能性がありますので、お止めください。
  電源を再投入する場合は、1 分間以上経ってから行ってください。
  （電動式排気ホースリールの場合）

目次

- はじめに
- 使用目的
- 警告･注意事項
- 使用上の注意
- 目次

1. 各部の名称 1

2. 設置 1

3. 使用前の準備

3.1 調整及び設定 2

3.2 確認事項 4

4. 使用方法 7

5. 保守･点検

5.1 故障の点検とその対策 9

5.2 保守･点検 10

6. 仕様 11

7. 主要寸法

7.1 排気ホースリール 11

7.2 ラバーノズル 12

8. 分解図・パーツリスト

8.1 電動式排気ホースリール 13

8.2 スプリング式排気ホースリール 14

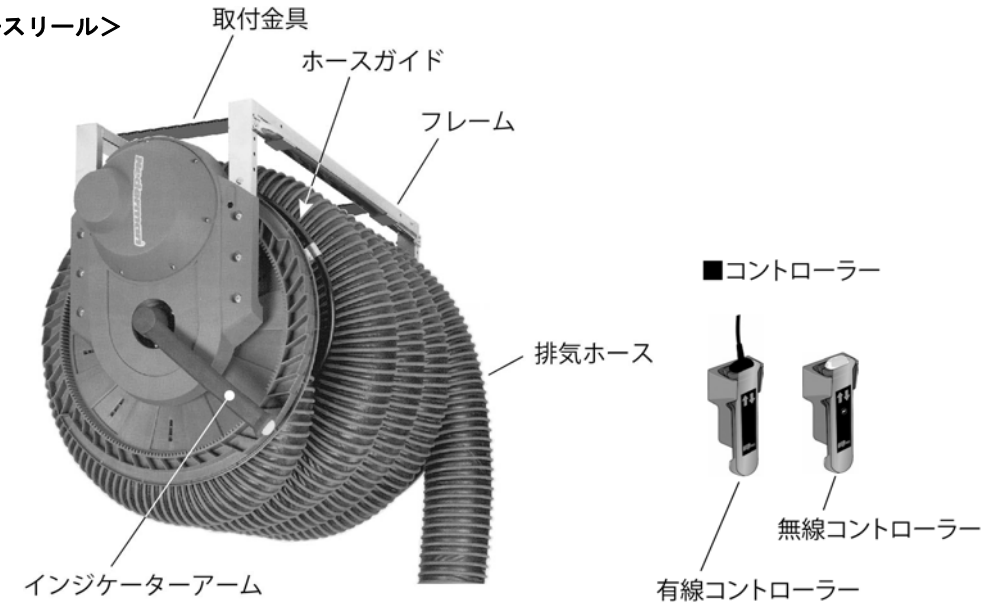
9. 不具合内容 FAX シート 15

10. 製品保証登録 FAX シート 16

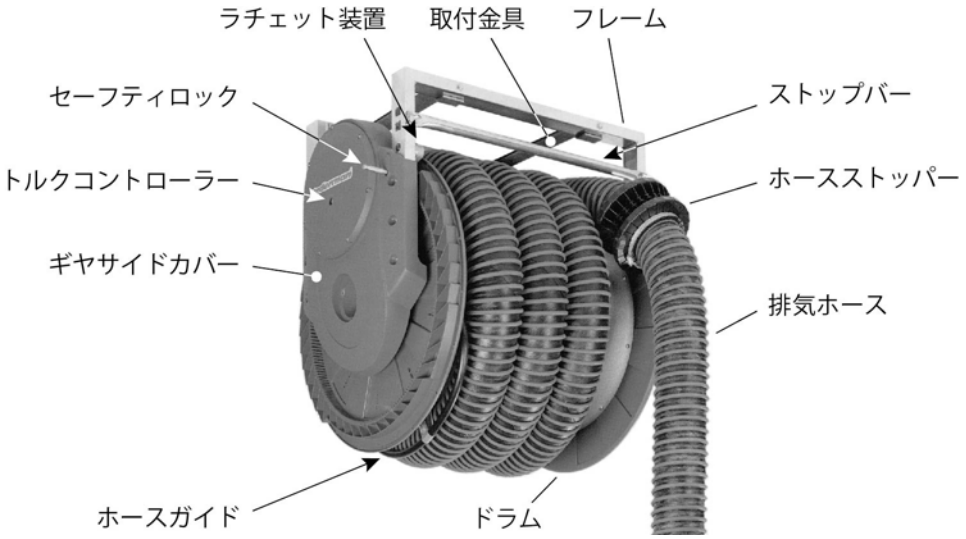
11. 保証規定 17

1. 各部の名称

＜電動式排気ホースリール＞



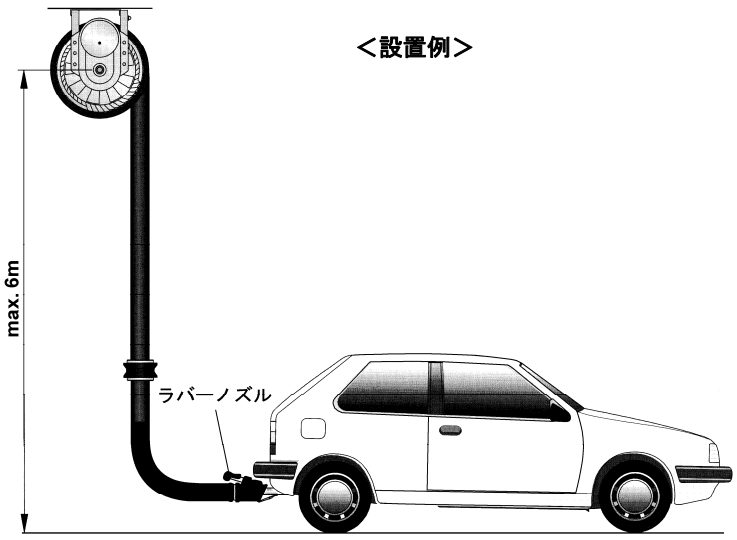
＜スプリング式排気ホースリール＞



2. 設置

排気ホースリールは、天井または壁面に取付けることができます。
また、床面からの取付高さは、作業エリア及び排気ホースの引出し長さを考慮して決定してください。
設置方法については、別途「設置要領書」（Doc. No. EXT 011S）を参照してください。

＜設置例＞



3. 使用前の準備

本製品には車両のマフラー部に接続するラバーノズル、及び排気ガスを吸引･排出する排気ファンは含まれておりません。別途ご購入ください。また、車両マフラー部に排気ホースが届かない場合には、延長用の排気ホースを別途ご購入の上、延長接続してください。

3.1 調整及び設定

＜電動式排気ホースリールの場合＞

■上限・下限の設定

工場出荷時、上限及び下限の設定はされていませんので、設置場所の状況に合わせて設定してください。

1) コントローラーの「上」と「下」の押ボタンを同時に、7 秒間以上押してください。
（インジケーターアーム先端の赤い LED が点滅）
2) 設定モードでは始めに上限を設定します。「上」の押ボタンを押して、上限に設定したい位置までホースを巻取ってください。
延長用の排気ホースを取付けても、可能な巻取り長さは変わりません。二重巻きにならないように注意して巻取ってください。（Fig.12 参照）
3) 設定したい位置が決まったら「上」と「下」の押ボタンを同時に、数秒間押し続けてください。
（黄緑色の LED が数秒点滅したら上限の設定完了）
4) 次に上限位置から「下」の押ボタンを押して、下限に設定したい位置までホースを引出してください。
5) 設定したい位置が決まったら「上」と「下」の押ボタンを同時に、数秒間押し続けてください。
（黄緑色の LED が数秒点滅したら下限の設定完了）

<Note>

上限のみ、下限のみの設定及び設定位置の変更はできません。
必ず、上限と下限の位置設定を同時に行ってください。

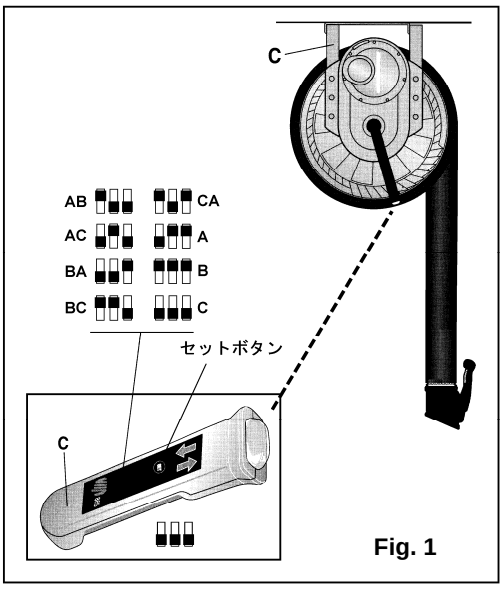


Fig. 1

■コードの設定（無線コントローラー仕様で複数台使用の時のみ）

工場出荷時には、無線コントローラーのコード設定は全て同じ（コード No. C）となっています。このため、複数台の無線式電動リールを狭い範囲に設置した場合、全てのリールが同調して動くことが考えられます。このため、コードの設定を変更します。コードの設定は無線コントローラーの内部にあるディップスイッチで行います。下記の手順で変更してください。

1) コードは 8 種類用意されていますので、適当に振り分けてください。（コントローラーの設定完了）（Fig. 1）
2) コントローラーをインジケーターアーム先端の受光部に向け、コントローラーのセットボタンをインジケーターアーム先端の黄緑色の LED が点滅するまで､7 秒間以上押し続けてください。（Fig. 1）

<Note>

インジケーターアーム先端にある LED から分かる状態（Fig. 2）

- *赤：点滅（A）… 上限、下限設定モードに移行したとき。*
- *赤：点灯（B）… コントローラーから入力があったとき。*
（「上」や「下」の押ボタンを押しているとき）
- *黄緑：点灯（C）… 排気ファン稼動状態。*
- *黄緑：ゆっくりとした点滅（D）… スタンバイ状態。*
（電源投入直後や排気ファン停止時など）
- *黄緑：早い点滅（D）… 上限や下限の設定値が設定されたとき。*

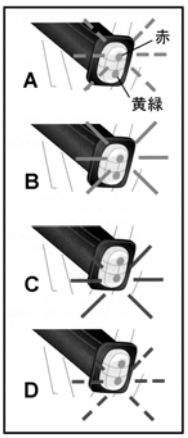


Fig. 2

＜スプリング式排気ホースリールの場合＞

■ラチェットの調整（Fig. 3）

排気ホースリールを天井に取付けた場合、工場出荷時のラチェット取付位置 A で使用できます。壁面に取付けを行った場合、位置の変更（A → B）が必要となりますので調整を行ってください。

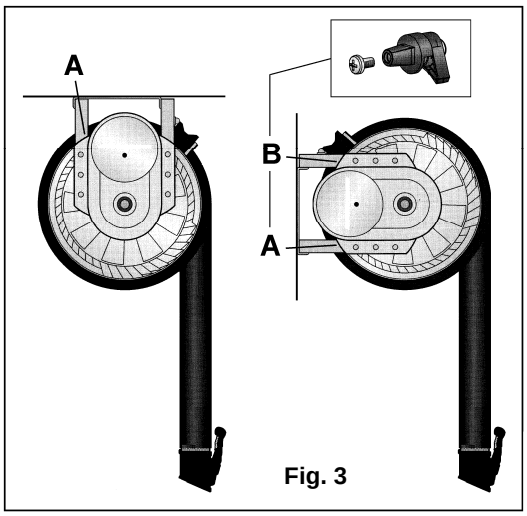


Fig. 3

⚠ 注意

- 調整を行う時は、必ずセーフティロックを押し込んで、確実にロックされていることを確認してください。

■排気ホースの調整（Fig. 4）

排気ホースを下記の手順で調整してください。

1) 排気ホースを床面から適当な高さで止まるところまで、引っ張ってください。
2) ギヤサイドカバーにあるセーフティロックを押して、ドラムを固定してください。
3) ホースストッパーで排気ホースの長さを調整し、固定してください。
4) セーフティロックを解除してください。

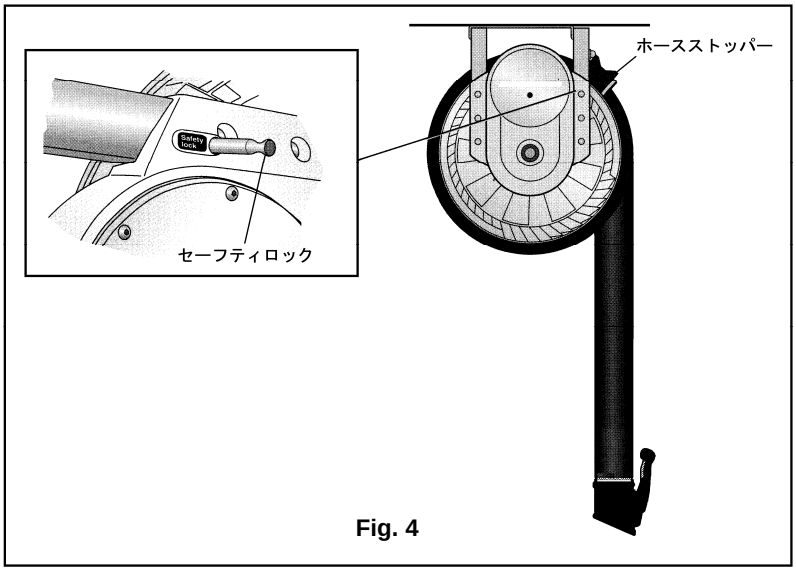


Fig. 4

■スプリングの調整（Fig. 5）

ホースを全て引出し、ゆっくりと巻取ります。この時、巻取りの最中にテンションが弱くなるようであれば、テンションを強めに設定する必要があります。

1) テンションの調整方法は、ギヤサイドカバーにあるセーフティロックを押してドラムを固定してください。
2) 次に、スプリングカバーの中心にあるテンションコントローラーの六角形の穴に、排気ホースリール付属の六角レンチを接続して時計回りに回します。
3) 逆にテンションが強すぎる場合は、ホースストッパーとラバーノズルを取外し、ホースを数周巻戻してください。

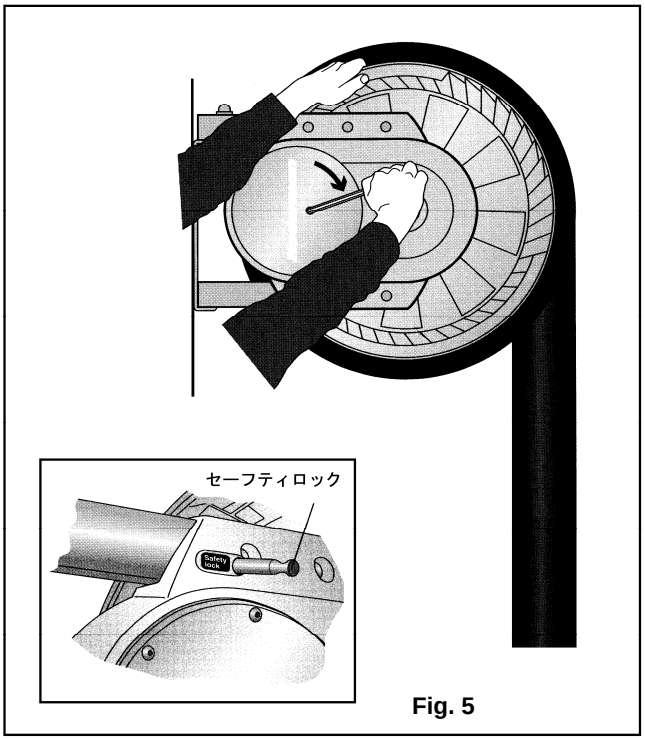


Fig. 5

3.2 確認事項

1) 本製品を天井または壁面に固定しているボルト及びナットに緩みがないか確認してください。

2) **＜電動式排気ホースリールの場合＞**
・ 本製品を操作する無線･有線コントローラーの「下」の押ボタンを押し続けると、排気ホースが降りてくることを確認してください。

<Note>
無線コントローラーの発信部は、受光部に確実に向けてください。受光部に赤外線信号が当っていないと反応しません。

・ 下限に設定した位置でドラムの回転が止まり、排気ホースの引出しが終了することを確認してください。

＜スプリング式排気ホースリールの場合＞
・ ラバーノズルを持って排気ホースを下に引き、排気ホースが引出せることを確認してください。排気ホースを下ろす際にカチカチとラッチ音が鳴るところで手を緩め、その位置でラッチ装置のロックが掛かることを確認してください。（Fig. 6）

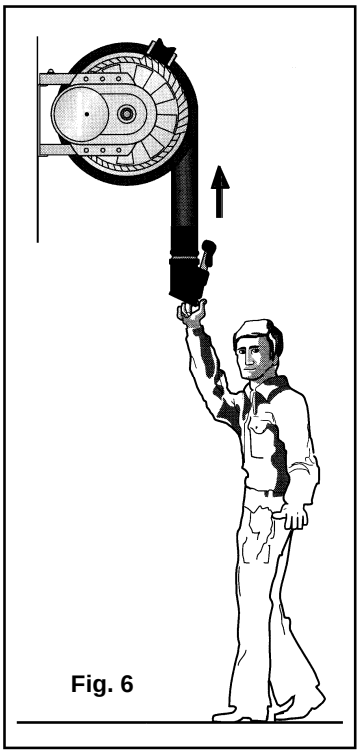


Fig. 6

⚠ 注意

- 排気ホースを下げる場合には、事故が起きないように、本製品の真下に人や車両がないことを確認してください。
- 排気ホースを無理に引っ張らないでください。排気ホース及び機器の破損の原因になります。
- 電動式で有線コントローラーを使用する場合、無理に引っ張って操作しないでください。断線や機器破損の原因になります。

3) 排気ホースにラバーノズルが確実に接続されていることを確認してください。

＜ラバーノズルの取付け＞ (Fig. 7, 8)
a) ラバーカバー及びホースバンドに排気ホースを通してください。
b) 排気ホースをラバーノズルのフレキシブルパイプ部の奥まで差し込み、
ホースバンドを排気ホースの端まで移動させてください。
c) ホースバンドにて確実に締め付けてください。（締付けトルク参考値：2.5 N・m）
d) ラバーカバーをホースバンドの上に覆い被せ、ホースバンドの金属部が見えないようにしてください。

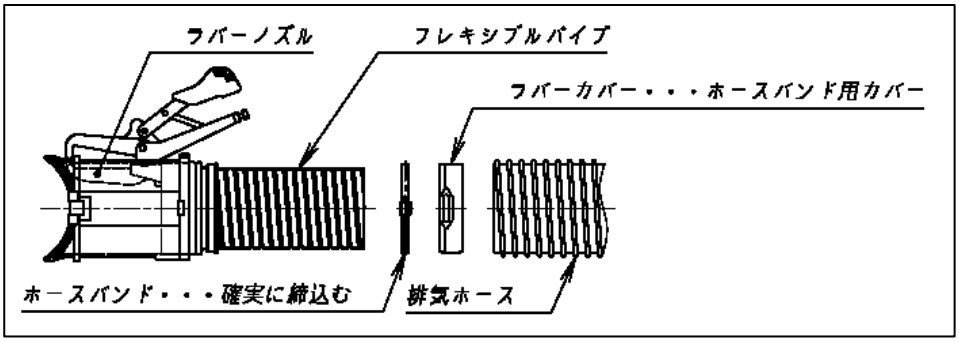
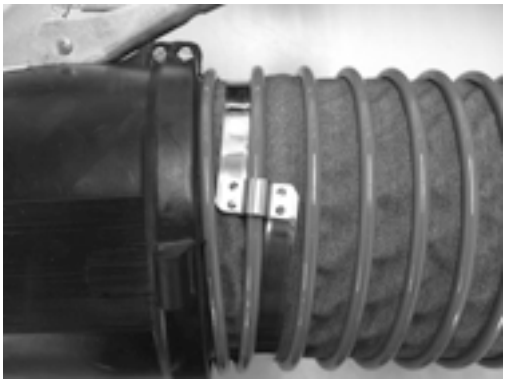


Fig. 7

⚠ 注意

- ホースバンドを強く締めすぎると溶接部が変形し、溶接が外れる恐れがあります。ホースバンドの溶接部が変形しないように注意しながら締め付けてください。
- ラバーカバーはホースバンド全周を覆うようにして取付けてください。ホースバンドの一部がラバーカバーよりはみ出していると、その部分との接触により排気ホースや車両等の損傷、及び人的損傷を起こす恐れがあります。

＜良い例＞



確実に締め付けられており、溶接部に変形がない状態 **Fig. 8(a)**

＜悪い例＞ 溶接部の変形

過度の締め付けにより、溶接部に大きな変形が見られる状態 **Fig. 8(b)**

4) ラバーノズルの先端部（バイスグリップ部）が、車両の排気マフラーに確実に固定できることを確認してください。車両マフラーの板厚によっては上手くクリップできないことがあります。その場合には、グリップの調整ねじで調整を行ってください。(Fig. 9)

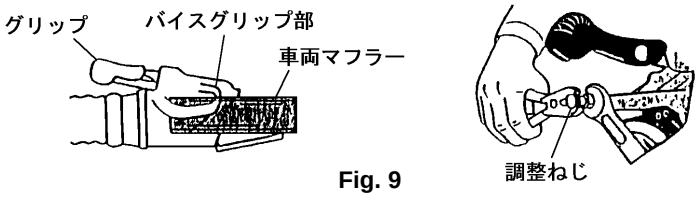


Fig. 9

⚠ 注意

- 車両のマフラー部にラバーノズルが届かない場合は、ラバーノズルを無理に引っ張らずに車両をラバーノズルの届く範囲まで移動させてください。無理に引っ張ると排気ホース及び機器の破損の原因になります。
- 車両のマフラーに接続する時は、排気ホースを床面に引きずらないでください。ホースに傷が付くことによりホースの寿命が短くなります。

5) **＜電動式排気ホースリールの場合＞**

・ 本製品を操作する無線･有線コントローラーの「上」の押ボタンを押し続けると、排気ホースが上昇することを確認してください。

・ 上限設定位置でドラムの回転が止まり、排気ホースの巻取りが終了することを確認してください。

＜スプリング式排気ホースリールの場合＞

・ 排気ホースを少し引出し、ロックを解除して、排気ホースがドラムに巻取れることを確認してください。

・ ホーストッパーがストッパーに引っ掛かり、巻取りが止まることを確認してください。

・ スイベルサイドカバーにあるマーカーが、排気ホースを引出すときは緑、巻取るときは赤になることをご確認ください。（Fig.10）

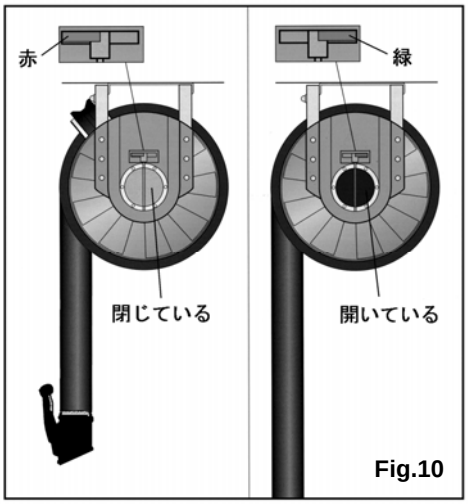


Fig.10

⚠ 注意

- 排気ホースを上昇させる際は、必ずラバーノズルを保持しながら行ってください。ノズルが空中で揺れて車両などに損傷を与える原因になります。

4. 使用方法

1) **＜電動式排気ホースリールの場合＞**

・ 無線･有線コントローラーの「下」の押ボタンを押し続け、ラバーノズルが車両マフラーに届く位置まで排気ホースを引出してください。この時、押ボタンを離すとドラムの回転が止まり、排気ホースの引出しが停止します。再度、押ボタンを押し続けると排気ホースを引出すことができます。

＜スプリング式排気ホースリールの場合＞

・ ラバーノズルのグリップを確実に保持し、必要な長さまで排気ホースを下ろしてください。この時、カチカチと鳴っているところで手を離すと、その位置でラッチ装置のロックが掛かります。

⚠ 注意

- 排気ホースを下ろす際は、必ずラバーノズルを保持しながら行ってください。ノズルが空中で揺れて車両などに損傷を与える原因になります。

2) ラバーノズルのグリップを持ち、先端部（バイスグリップ部）を車両マフラーに差込んでクリップし、確実に固定してください。固定できない場合は、グリップの調整ねじを再調整してください。（Fig. 9 参照）

⚠ 警告

- 車両エンジンの回転数を上げたまま（空ふかしや高負荷状態）の状態で長時間使用しないでください。排気ガスの温度が上昇し、火災やホースの劣化など故障の原因になるとともに、室内に排気ガスが充満し作業者の健康に影響を及ぼす恐れがあります。

- 車両マフラーへのラバーノズルの差込み固定は確実に行ってください。固定状態が不十分な場合、エンジンの始動時や稼働中にノズルが外れ、排気ガスを吸引することができず、室内に排気ガスが充満して作業者の健康に影響を及ぼす恐れがあります。

⚠ 注意

- エンジンクリーナーなどを使用した車両には、絶対に使用しないでください。エンジンクリーナーに含まれている成分が排気ホースの寿命を著しく短くします。

3) 車両のエンジンをかけ、エンジンの回転数を抑えて（アイドリング状態）作業を行ってください。
排気ホースの耐熱温度は下記の表の通りです。

・排気ホースの耐熱温度

ホースの種類	通常の連続使用温度	短時間での最高使用温度（5 分）
NR-CP	150 °C	175 °C
NFC-3（ディーゼル車専用）	300 °C	350 °C

⚠ 注意

- ＜スプリング式排気ホースリール＞を使用する場合、NFC-3 は使用しないでください。排気ホースの寿命を著しく短くします。

4) 作業が終了したら、車両のエンジンを停止してください。

5) ラバーノズルのクリップを完全に解除して、先端部（バイスグリップ部）を車両マフラーから取外してください。

⚠ 注意

- 必ず車両のエンジンが止まっていることを確認してください。エンジンを止めずにラバーノズルを外すと、排気ガスの熱で火傷や怪我の原因となります。
- クリップを完全に解除してからラバーノズルを引抜いてください。クリップの解除が不完全のまま引抜くと、車両マフラーなどの傷や故障の原因になります。
- 車両のエンジンを停止した直後のラバーノズルは、大変高温になっております。ラバーノズルを取外す際には、十分ご注意ください。

6) **＜電動式排気ホースリールの場合＞**

・ 無線･有線コントローラーの「上」の押ボタンを押し続け、排気ホースを上昇させて、ドラムに巻取ってください。

＜スプリング式排気ホースリールの場合＞

・ 排気ホースを少し引出し、ロックを解除して排気ホースを巻取らせてください。

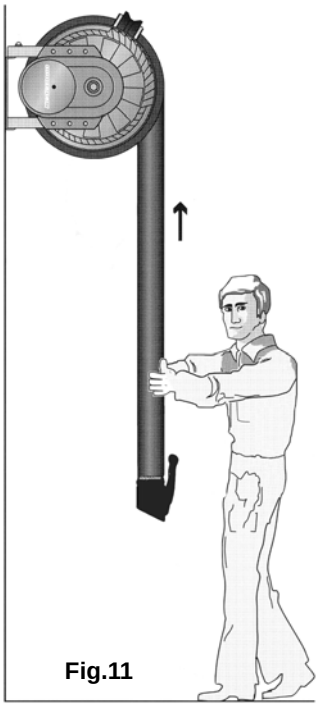
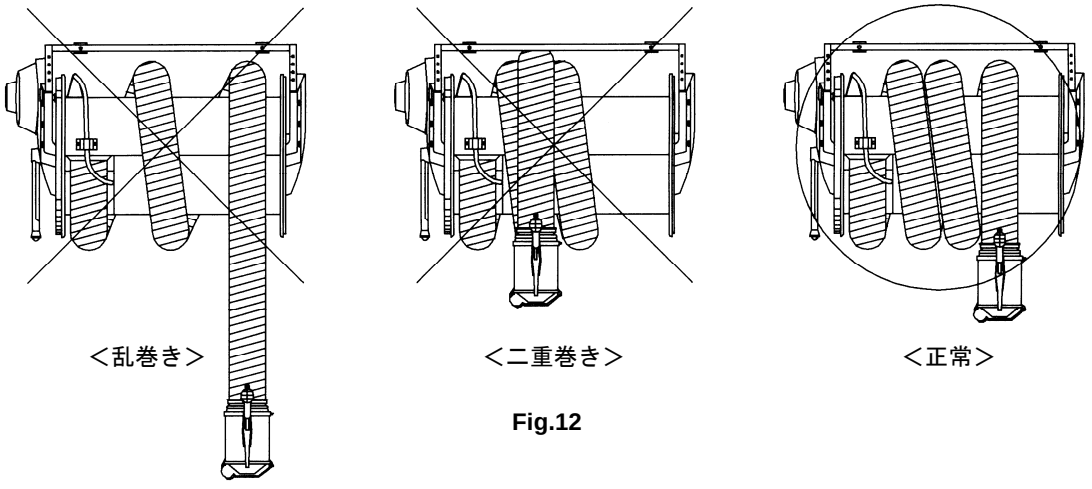


Fig.11

⚠ 注意

- 必ずラバーノズルが車両から外れていることを確認してから、排気ホースを上昇させてください。外れていない場合に排気ホースを上昇させると、排気ホース、ラバーノズルまたは車両などの破損の原因になります。
- 排気ホースを上昇させる際は、必ず排気ホースやラバーノズルを保持しながら行ってください。ノズルが空中で揺れて車両などに損傷を与える原因になります。（Fig.11）
- 排気ホースを上昇させる際は、ドラムに乱巻きや二重巻きにならないように巻付けてください。排気ホースが正常に巻取られていないと、垂下がった排気ホースやラバーノズルが車両などに接触し、損傷の原因になります。（Fig.12）



＜乱巻き＞　＜二重巻き＞　＜正常＞

Fig.12

<Note>

排気ホースを最大に引出した状態で使用し、ロックが外れなくなった場合、下記の手順でロックを解除してください。(Fig.13)

a) ドラムのギヤサイドプレートのグリップを掴み、少しずつ排気ホースを出す方向へ回してください。

b) ロックが解除されるまで、回してください。

c) 解除されましたら、ギヤサイドプレートと排気ホースを持ち、ゆっくり巻取らせてください。

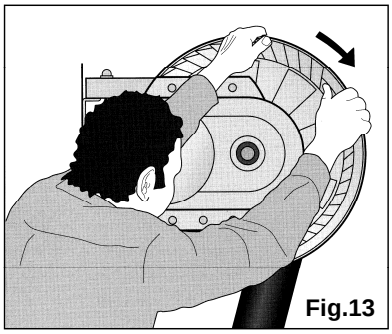


Fig.13

5. 保守･点検

5.1 故障の点検とその対策

＜電動式排気ホースリール＞

状　況	原　因	点検内容･対策
排気ホースがきれいに巻取れない。	・乱巻きまたは二重巻きになっている。	・一度、排気ホースを完全に引出し、手を添えて巻取る。
排気ホースが下降しない。	・電源が入っていない。	・電源を入れる。
無線コントローラーの信号に反応しない。	・受光部に信号が届いていない。	・確実に受光部に向けて操作してください。
	・電池切れ。	・電池を交換する。（単三電池 2 本）
	・信号のコードが合っていない。	・コード設定を再度行ってください。(P.2)
	・違う排気ホースリールの発信器を使っている。	・排気ホースリールと同じ番号の発信器を使用する。
有線コントローラーのボタンを押しても動かない。	・電源が入っていない。	・電源を入れる。
排気ガスの吸込みが悪い。または、吸わない。	・ラバーノズルに大きなゴミやウエスなどが付いている。	・ゴミなどを取除く。
	・排気ホースが切れている。	・排気ホースを交換する。
	・ダクトが外れている。	・弊社営業まで修理を依頼する。
	・排気ファンの電源が入っていない	・排気ファンの電源を入れる。

＜スプリング式排気ホースリール＞

状　況	原　因	点検内容･対策
排気ホースがきれいに巻取れない。	・乱巻きまたは二重巻きになっている。	・一度、排気ホースを完全に引出し、手を添えて巻取る。
	・スプリングの巻取りトルクが弱い。	・スプリングの調整を行ってください。(P.3)
	・ロックが掛かっている。	・排気ホースを少し引き､ロックを解除する。
排気ガスの吸込みが悪い。または、吸わない。	・ラバーノズルに大きなゴミやウエスなどが付いている。	・ゴミなどを取除く。
	・排気ホースが切れている。	・排気ホースを交換する。
	・ダクトが外れている。	・弊社営業まで修理を依頼する。
	・排気ファンの電源が入っていない。	・排気ファンの電源を入れる。
排気ホースが届かない。	・ホースストッパーの位置が適切でない。	・ホースストッパーの位置を適切な位置に調整する。

5.2 保守･点検

■点検

・排気ホースに切れや劣化がないか、目視または触診にて確認してください。切れや劣化を発見した場合、速やかに販売店または弊社営業まで連絡してください。
・ラバーノズルの開口部に大きなゴミやウエスなどがないか目視にて確認してください。ゴミなどを発見した場合は取除いてください。
・本製品から異音がしていないか確認してください。

■消耗品の交換

消耗品の内、下記の消耗品に異常が発見された場合、速やかに販売店または弊社営業に連絡し、新品と交換してください。
・排気ホースに切れや劣化が見つかった場合
・ラバーノズルに破損があった場合

⚠ 注意

- 消耗品に不備が見つかった場合には、速やかに交換を行ってください。システムが有効に作動せず思わぬ事故を招く恐れがあります。
- 消耗品の交換は、高所での作業を伴うことがあります。安全規則を遵守の上、落下などには十分に注意して行ってください。

<オプション>

部品番号	部品名称	備考
H373522	無線コントローラー	電動式リール用　無線式
H373712	有線コントローラー	電動式リール用　有線式
H373556	ファンブラケット	排気ファン直付時に使用
H373557	ON/OFFスイッチ	スプリングリール用
H500291	モーターダンパーセット	リール連動のオートマチックダンパー

制御盤

部品番号	品名	備考
685317	排気システム制御盤	N16用
685318		N24用
685319		N29用
685320		NSB-3700用
685321		NSB-5500用
685322		NSB-7500用
685323		N16用　排気ファン起動用 ON/OFFスイッチ付
685324		N24用　排気ファン起動用 ON/OFFスイッチ付
685325		N29用　排気ファン起動用 ON/OFFスイッチ付
685326		NSB-3700用　排気ファン起動用 ON/OFFスイッチ付
685327		NSB-5500用　排気ファン起動用 ON/OFFスイッチ付
685328		NSB-7500用　排気ファン起動用 ON/OFFスイッチ付

6. 仕様

■電動式排気ホースリール

製品番号	型式	製品名称	排気ホース材質	排気ホースサイズ	使用可能排気ホース長さ	ドラムに巻ける排気ホース長さ	質量（kg）（ラバーノズルなし）
H806465	E4-7.5SNR	電動式排気ホースリール（ショートタイプ）	NR-CP (EPDM) ガソリン・ディーゼル車用	4"(φ100) x7.5 m	7.5	7.5	30
H806165	E4-7.5NR	電動式排気ホースリール		4"(φ100) x7.5 m	12.5	10	38
H806565	E4-7.5NFC	電動式排気ホースリール	NFC-3 (PA) ディーゼル車用	4"(φ100) x7.5 m	12.5	10	40
H806665	E5-7.5NFC	電動式排気ホースリール		5"(φ125) x7.5 m	10	8.5	45
H806765	E6-7.5NFC	電動式排気ホースリール		6"(φ150) x7.5 m	10	8.5	49

■スプリング式排気ホースリール

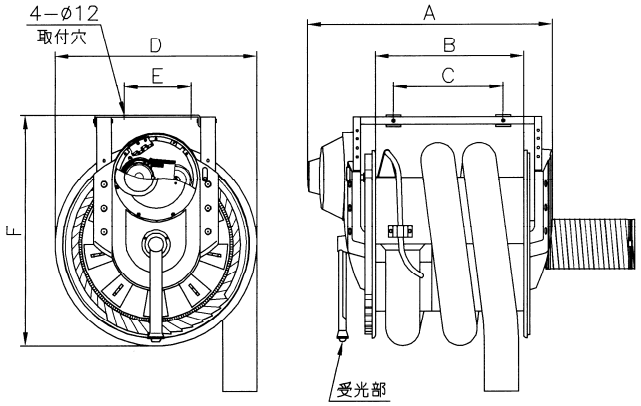
製品番号	型式	製品名称	排気ホース材質	排気ホースサイズ	使用可能排気ホース長さ	ドラムに巻ける排気ホース長さ	質量（kg）（ラバーノズルなし）
H808565	S3-5SNR	スプリング式排気ホースリール（ショートタイプ）	NR-CP (EPDM) ガソリン・ディーゼル車用	3"(φ75) x5 m	10	8	26
H811465	S4-7.5NR	スプリング式排気ホースリール		4"(φ100) x7.5 m	7.5	7.5	37
H808765	S5-7.5NR	スプリング式排気ホースリール		5"(φ125) x7.5 m	10	8.5	39
H808865	S6-7.5NR	スプリング式排気ホースリール		6"(φ150) x7.5 m	10	8.5	41

※ショートタイプと指定されていない製品は、全てワイドタイプになります。

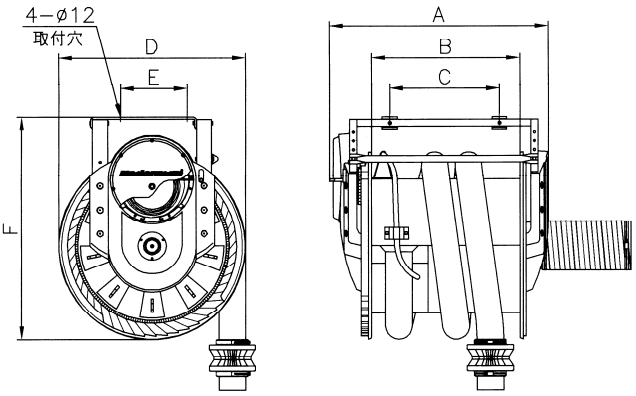
7. 主要寸法

7.1 排気ホースリール

■電動式排気ホースリール



■スプリング式排気ホースリール



＜電動式排気ホースリール＞

製品番号	ホースサイズ	寸法					
		A	B	C	D	E	F
H806465	4"(φ100) x7.5 m	825	500	370	φ680	225	775
H806165 H806565	4"(φ100) x7.5 m	1155	830	700	φ730		800
H806665	5"(φ125) x7.5 m						
H806765	6"(φ150) x7.5 m				φ780		825

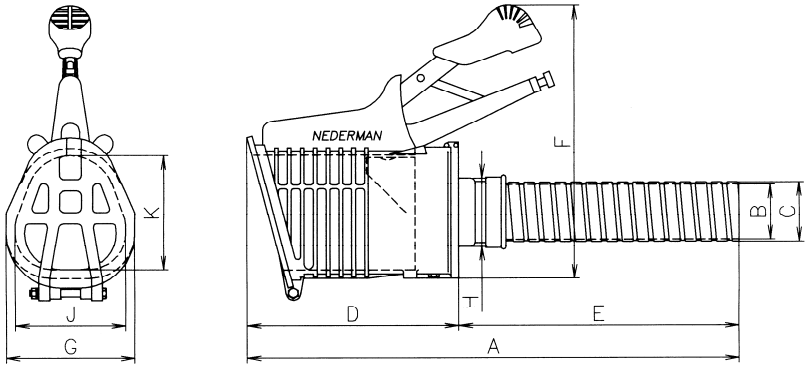
＜スプリング式排気ホースリール＞

製品番号	ホースサイズ	寸法					
		A	B	C	D	E	F
H808565	3"(φ75) x5 m	725	500	370	φ630	225	750
H811465	4"(φ100) x7.5 m	1055	830	700	φ680		775
H808765	5"(φ125) x7.5 m				φ730		800
H808865	6"(φ150) x7.5 m				φ780		825

7.2 ラバーノズル

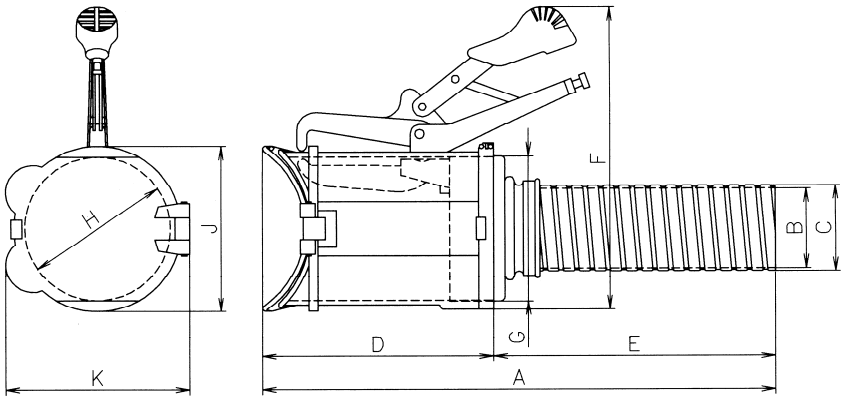
■ラバーノズル △形

製品番号	ホースサイズ	寸法										質量 (kg)
		A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	
H803461	3" (75 mm)	Max. 720 Min. 535	φ60	φ65	230	Max. 490 Min. 305	Max. 300 Min. 240	φ140	φ75	φ120	125	2.2
H803561	4" (100 mm)		φ88	φ95					φ100			2.6
H803661	5" (125 mm)		φ113	φ120					φ125			2.9



■ラバーノズル ○形

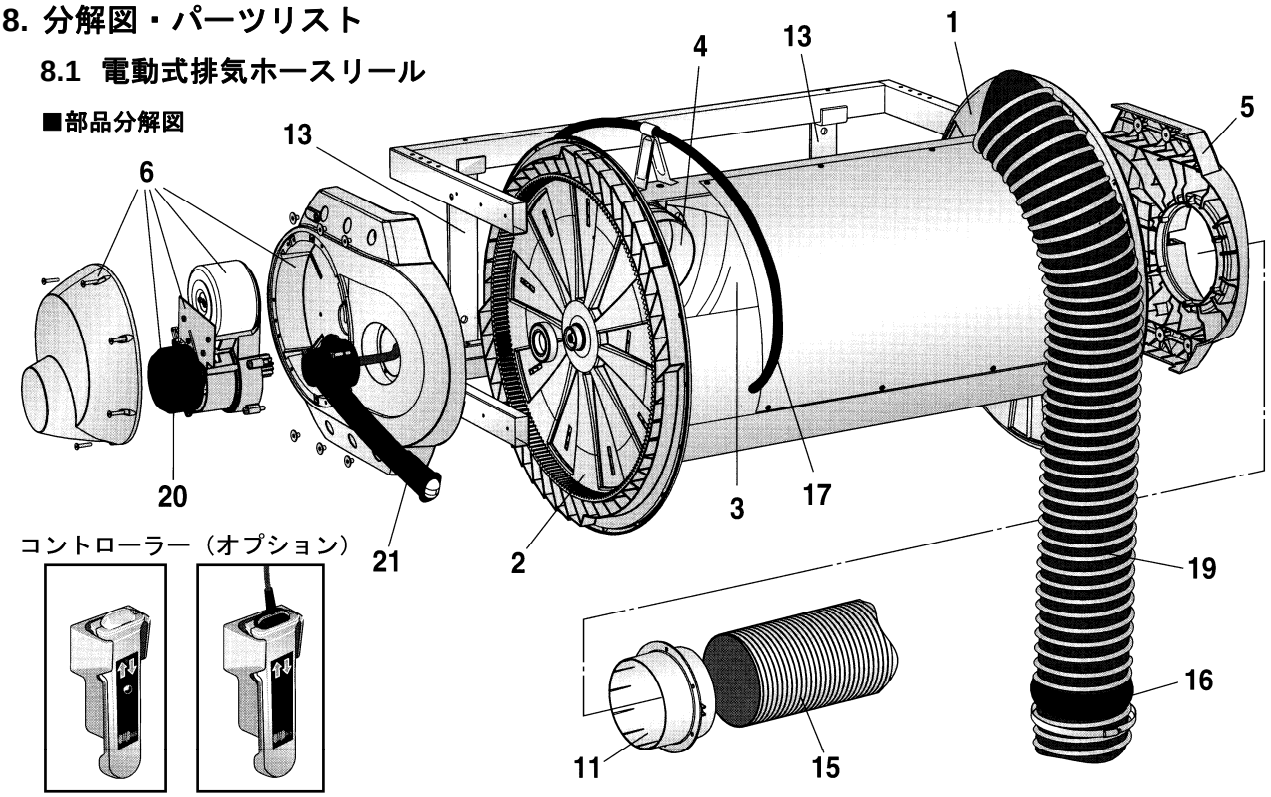
製品番号	ホースサイズ	寸法										質量 (kg)
		A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	
H803161	4" (100 mm)	Max. 740 Min. 555	φ88	φ95	250	Max. 490 Min. 305	Max. 335 Min. 280	φ160	φ158	φ182	200	3.1
H803261	5" (125 mm)		φ113	φ120								3.4
H803361	6" (150 mm)		φ133	φ140								3.8



8. 分解図・パーツリスト

8.1 電動式排気ホースリール

■部品分解図



コントローラー（オプション）

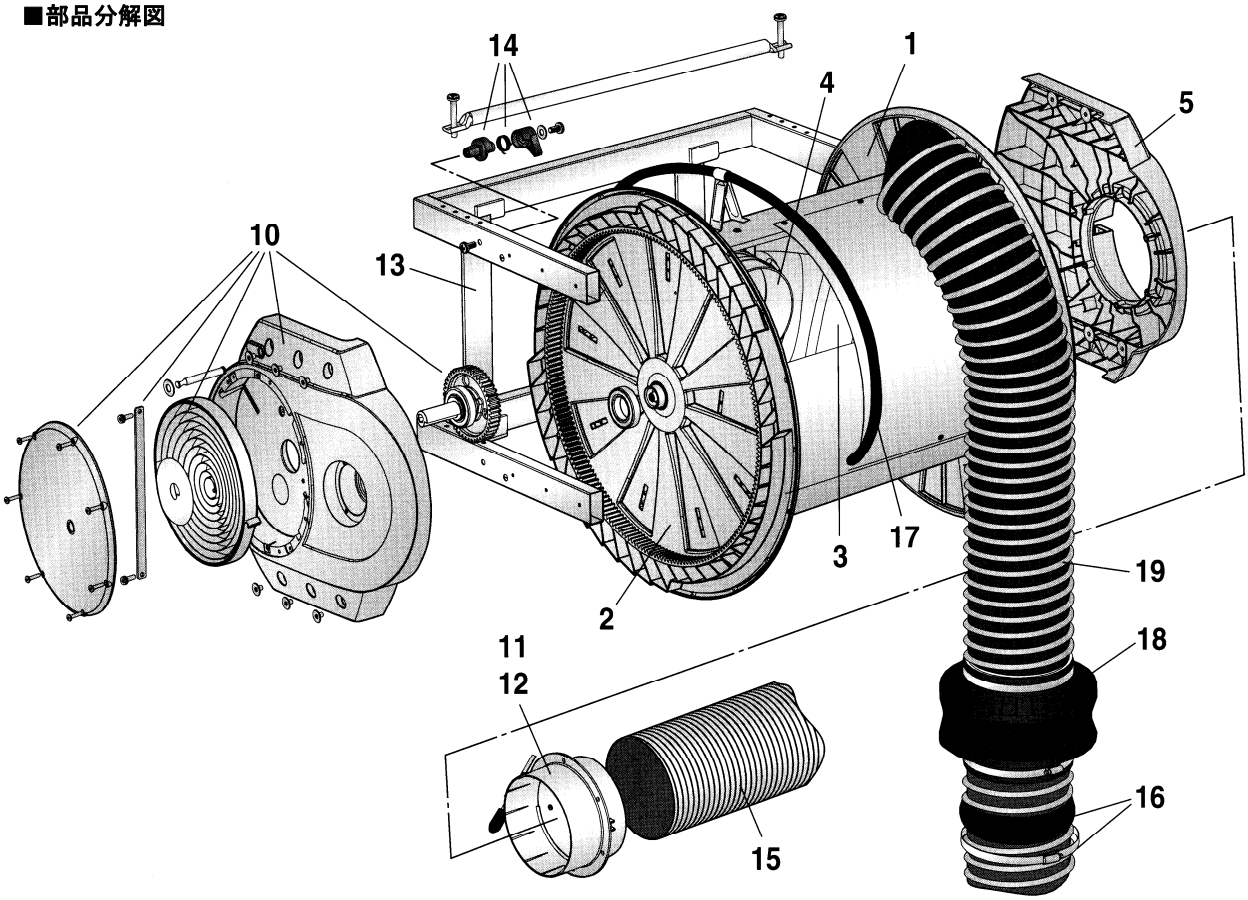
■パーツリスト

番号	部品名称	H806465	H806165
		排気ホースリールE,S4-7.5	排気ホースリールE,4-7.5
		NR-CP	
1	スイベルサイドプレート	H373582	
2	ギヤサイドプレート	H373583	
3	インナーダクト	H373585	H373584
4	接続アダプター	H373587	
5	スイベルサイドカバー	H373590	
6	モーター組立	H374062（スプリング式から電動式に変更の場合）	
11	ベアリング	H373598	
13	取付金具（2本セット）	H373600	
15	接続ダクト	H363116	
16	ラバーカバー	H341281	
	ホースバンド	H341181	
17	ホースガイド	H332253	
19	排気ホース	H820562	
20	モーターユニット	H373707（モーター単体の変更の場合）	
21	インジケーターアーム	H373708	

番号	部品名称	H806565	H806665	H806765
		排気ホースリールE,4-7.5	排気ホースリールE,5-7.5	排気ホースリールE,6-7.5
		NFC-3		
1	スイベルサイドプレート	H373582		
2	ギヤサイドプレート	H373583		
3	インナーダクト	H373584		
4	接続アダプター	H373587	H373588	H373589
5	スイベルサイドカバー	H373590		
6	モーター組立	H374062（スプリング式から電動式に変更の場合）		
11	ベアリング	H373598		
13	取付金具（2本セット）	H373600		
15	接続ダクト	H363116		
16	ラバーカバー	H341281	H341282	H341283
	ホースバンド	H341181	H341182	H341183
17	ホースガイド	H332253		
19	排気ホース	H822762	H823162	H823562
20	モーターユニット	H373707（モーター単体の変更の場合）		
21	インジケーターアーム	H373708		

8.2 スプリング式排気ホースリール

■部品分解図



■パーツリスト

番号	部品名称	H808565	H811465	H808765	H808865
		排気ホースリールS,3-5	排気ホースリールS,4-7.5	排気ホースリールS,5-7.5	排気ホースリールS,6-7.5
1	スイベルサイドプレート	H373582			
2	ギヤサイドプレート	H373583			
3	インナーダクト	H373585		H373584	
4	接続アダプター	H373586	H373587	H373588	H373589
5	スイベルサイドカバー	H373590			
10	スプリング組立	H373596		H373597	
11	ベアリング	H373598			
12	メカニカルダンパー	H373599			
13	取付金具（2本セット）	H373600			
14	ラチェット装置	H373601			
15	接続ダクト	H363116			
16	ラバーカバー	H341280	H341281	H341282	H341283
	ホースバンド	H341180	H341181	H341182	H341183
17	ホースガイド	H332253			
18	ホーススストッパー	H344475	H341188	H344111	H344476
19	排気ホース	H820262	H820562	H820962	H821362

9. 不具合内容 FAX シート

・ 不具合･故障の原因を追求するために、及び修理サービスの充実を図るために必要となりますのでお手数ですが下記の FAX シートに必要事項を記入して、弊社営業所宛てに送信してください。

不具合内容 FAX シート	
フリガナ 貴社名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿	フリガナ ご担当者名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
フリガナ ご住所 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿	 ご所属 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ご連絡先 Tel.　（　　）＿＿＿＿－＿＿＿＿＿＿ Fax.　（　　）＿＿＿＿－＿＿＿＿＿＿
製品名	型式
使用期間 20　　年　　月 ～　　年　　月	SERIAL No. （LOT No.）
運転頻度　口連続 口断続　　hr／日･週･月	購入年月日 購入販売店
機器の状態（不具合の内容）	

10. 製品保証登録 FAX シート

・お手数ですが、下記の FAX シートをコピーして必要事項をご記入の上、弊社宛てにご送信ください。
（フリガナ指定の箇所は、必ずご記入ください。）

製品保証登録 FAX シート

フリガナ 貴社名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿	フリガナ ご担当者名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
フリガナ ご住所 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿	 ご所属 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ご連絡先 Tel.　（　　）＿＿＿＿－＿＿＿＿＿＿ Fax.　（　　）＿＿＿＿－＿＿＿＿＿＿

■貴社の業種を下記より選んで〇で囲んでください。

1.ガソリンスタンド	2.自動車整備業	3.自動車部品製造
4.車両・造船業	5.製鉄業	6.機械加工業
7.機械製造業	8.電気機械器具製造	9.半導体製造業
10.化学・プラント	11.建築・土木	12.塗料・インキ製造業
13.薬品・樹脂	14.食品製造業	15.塗装業
16.鉄道・バス・運輸業	17.窯業・陶器製造	18.印刷産業
19.鋳造業	20.石油産業	21.電気部品製造
22.軽金属・非鉄	23.織物・家具	24.バルブ

25.その他（詳しくご記入ください。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

■本製品をお知りになったきっかけを〇で囲んでください。

新聞	1.日刊工業新聞	2.日本工業新聞		3.日経産業新聞
	4.日刊自動車新聞	5.燃料油脂新聞		6.その他の新聞
雑誌	7.IEN	8.化学装置	9.IPG	10.その他の雑誌
	11.販売員に薦められて	12.展示会		13.カタログで

ご購入年月日	＿＿＿年 ＿＿＿ 月 ＿＿＿ 日	ご購入目的 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
ご購入販売店		ご使用条件 1.使用冷媒 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
製品名（型式）		
製品番号		
SERIAL No.		
LOT No.		

宛先

株式会社 ヤマダコーポレーション

営業部　製品保証登録係

TEL. 03-3777-4101

FAX. 03-3777-3328

11. 保証規定

本製品は、厳重な検査に合格した後、皆様のお手元にお届けしております。取扱説明書、本体注意ラベルなどの注意書に従って正常なご使用をされたにも拘わらず保証期間内に万一、弊社の責任に基づく故障が起こりました場合には、納入日より１２か月を保証期間として、当該品を無償にて欠陥部品の手直し、修理、または新品と交換させていただきます。

ただし、二次的に発生する損失の補償及び次の場合に該当する故障についての保証は対象外とさせていただきます。

1.保証期間：製品を納入申し上げた日より起算して１２か月間といたします。

2.保証内容：期間中に、本製品を構成する純正部品の材料、もしくは製造上の欠陥が表われ、弊社がこれを認めた場合、修復費用は全額負担いたします。

3.適用除外：期間中であっても、下記の場合には適用いたしません。

(1) 純正部品以外の部品を使用された場合に発生した故障。
(2) 使用・取扱上の過失による故障、保管・保安上の手入れ不十分が原因による故障。
(3) 製品の構成部品を腐食・膨潤、または溶解する様な液剤を使用されて生じた故障。
(4) 弊社、または弊社の販売店・指定サービス店以外の手によって分解修理がなされた場合。
(5) 製品に弊社以外の手によって改造・変更が加えられ、これが原因で発生した故障。
(6) パッキン、ホースなどの消耗部品の摩耗。
(7) お買上後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷。
(8) 火災、地震、水害、及びその他天災、地変などの不可抗力による故障及び損傷。
(9) 日本国外においてご使用の場合。

尚、本製品及びその付属品に使用されているゴム部品など、あらゆる自然損耗する部品ならびに消耗部品については、保証の適用から除外させていただきます。

4.補修部品：補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後５年とさせていただきます。製造打ち切り後５年を経過したものにつきましては、供給いたしかねる場合もございますので、何卒ご了承ください。

製品に対するお問い合わせは、下記営業所にお願い致します。

株式会社ヤマダコーポレーション

本社・営業部	〒143−8504 東京都大田区南馬込 1 丁目 1 番 3 号	TEL（03）3777−4101（代）	FAX（03）3777−3328
札幌営業所	〒062−0002 札幌市豊平区美園二条 6 丁目 3 番 16 号	TEL（011）821−0630（代）	FAX（011）821−0949
仙台営業所	〒981−3137 宮城県仙台市泉区大沢 2 丁目 2 番 3 号	TEL（022）343−9410（代）	FAX（022）343−9411
東京営業所	〒143−8504 東京都大田区南馬込 1 丁目 1 番 3 号	TEL（03）3777−3171（代）	FAX（03）3777−6770
名古屋営業所	〒463−0052 名古屋市守山区小幡宮ノ腰 7 番 38 号	TEL（052）795−0222（代）	FAX（052）795−0444
大阪営業所	〒537−0025 大阪市東成区中道 3 丁目 15 番 2 号	TEL（06）6971−5301（代）	FAX（06）6974−0497
広島営業所	〒731−5128 広島市佐伯区五日市中央 3 丁目 3 番 9 号	TEL（082）275−5852（代）	FAX（082）275−5853
福岡営業所	〒812−0888 福岡市博多区板付 5 丁目 18 番 14 号	TEL（092）581−5477（代）	FAX（092）581−6524

YAMADA　AMERICA Inc.	955 E.ALGONQUIN RD., ARLINGTON HEIGHTS, IL 60005,USA	TEL 1−847−631−9200
YAMADA　EUROPE B.V	Aquamarijnstraat 50−7554 NS Hengelo(O), The Netherlands	TEL 31−0−74−242−2032
雅玛达(上海)泵业贸易有限公司	上海市浦东新区金桥路 2690 弄 48 号 7 号门	TEL 86−21−3895−3699

201403 EXT010U